

サービス統計整備研究会（第2回）議事概要

1 日時 平成19年12月14日（金） 13：00～15：00

2 場所 中央合同庁舎2号館8階 共用801会議室

3 出席者

構成員：（学識経験者）廣松毅座長、引頭麻実委員、川本裕子委員、三輪芳朗委員

（関係府省）二上唯夫委員（内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民生産課長）、清水誠委員（総務省統計局統計調査部経済統計課長）、山根一久委員（経済産業省経済産業政策局調査統計部サービス統計室長）

（オブザーバー）中島隆信内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官

総務省：貝沼政策統括官、犬伏統計審査官

4 議題

- (1) 動態統計の在り方について（直近の課題への対応について）
- (2) 年次構造統計の整備の在り方について
- (3) その他

5 配布資料

- (1) 新たな特定サービス産業動態統計調査の計画案について
 - (2) 特定サービス産業動態統計調査とサービス産業動向調査（仮称）との間のデータ提供の方法について
 - (3) サービス産業に係る年次構造統計整備における主な論点（事務局案）
 - (4) 特定サービス産業実態調査について
 - (5) サービス産業に係る統計調査の必要性について（SNA関連統計を中心として）
- （参考資料）

- ・ サービス分野に係る統計調査の現状（調査事項別）（未定稿）
- ・ サービス分野に係る経済活動別国内総生産（名目・平成17年暦年）
- ・ 経済成長戦略大綱（抄）（平成19年6月19日改定 経済財政諮問会議に報告）
- ・ サービス統計整備研究会（第1回）議事概要

6 議事の概要

- (1) 事務局から、本日の配布資料及び前回研究会の結果について説明が行われた。
- (2) 議題1について

山根委員から、資料1に基づき、新たな特定サービス産業動態統計調査の調査客体の選定方法について説明があった。

特定サービス産業動態統計調査とサービス産業動向調査（仮称）との間のデータ提供の方法について、資料2に基づき、事務局から案Aから案Cについて、山根委員から案Dについて説明が

あり、これらの調整案に関する意見交換が行われた。

各委員からの主な意見等は以下のとおり。

案Cがデータも有効活用され、効率的ではないか。課題はあるが、解決可能なものであると考える。早急に調査設計に着手してほしい。

平成20年7月の調査実施に向けた検討にはあと10日余りしか残されていないが、最善の調整が行われなかったとしても、その後の方向性については適切な期限を設け、できるだけ早期に案Cに移行できるようにすべき。

意見交換の結果、当面案Cにより実施する方向で両省と事務局において12月下旬まで調整を続けるが、調整に時間を要し、調査の実施に間に合わない場合は、平成20年7月からの調査については、暫定的に案Dで行うこともやむを得ないとされた。

なお、やむを得ず案Dで調査を実施する場合においても、案Cを実現するための課題を整理し、課題ごとに期限を設けた上で、速やかに対処することとされた。また、当該調整結果については、次回研究会において報告することとされた。

(3) 議題2について

事務局から、資料3に基づき、年次構造統計調査整備に関する論点(案)について、山根委員から、資料4に基づき、年次構造統計調査の一つである特定サービス産業実態調査について、それぞれ説明があり、説明内容の確認などで若干の質疑が行われた。

二上委員から、資料5に基づき、SNA関連統計としてのサービス統計に対する要望について説明があった。

説明を踏まえ、年次構造統計の整備の在り方について、意見交換が行われた。

各委員からの主な意見等は以下のとおり。

サービス産業は多種多様であり、産業横断的な把握を重視することは適当ではなく、個別の産業に係る重要な調査事項が漏れないようにすることが重要である。

サービス産業に関する統計に最も求められているのは、生産性の把握であり、その把握に当たっては、総量を重視するだけでなく、質に関する把握を重視すべきである。

サービス統計を実施する側には、国民の声がなかなか届きにくいもの。ニーズの検討に当たっては、まず国民の声について考える姿勢が求められる。

政策的ニーズについては、政策当局も統計のユーザーとして整理した方が良いのではないかと。

意見交換を踏まえ、論点を修正し、次回研究会において提示することとされた。また、論点整理について委員からの質問、意見等がある場合は、あらかじめメモ等により事務局に連絡を行い、事務局がこれらを取りまとめ、論点に反映することとされた。

(4) 次回は平成20年1月に開催予定。

<文責：総務省政策統括官(統計基準担当)付統計審査官室
(速報のため、今後、修正の可能性あり)>